

## 森の資源を活かして使う、 地域材活用事業



森とつながるフォーラム相模原[学習会]

「森とつながる  
フォーラム相模原」の  
会員数 **33人(団体)**

市内小学校の学習機の  
天板の製作、取付け数 **200枚**

活動の全体目標に  
対する達成度 **30%**

### 課題

貴重な市内の森林や木材資源について住民の理解や意識を高めていくための組織体制や、間伐材の効率的な搬出を促進して加工・流通する仕組みの構築が不可欠である。

### 活動内容

- 「森とつながるフォーラム相模原」を運営し、森に関わる団体、事業者、行政のパートナーシップにより、森林の保全、木材の利活用、木育・環境教育を進めた。
- 森林保全活動を行うボランティア団体などが間伐する木材の搬出技術の指導及び搬出の支援を行った。
- 搬出した間伐材を活用し、市内小学校の教室機の天板や薪を製作した。天板は市内小学校へ運搬し、取り付け、環境教育は「森とつながるフォーラム」が行った。



学習機の天板を活用した  
環境学習

### 今後の課題

- さらなるフォーラムへの参加呼びかけと、効果的なイベントの開催
- 間伐した広葉樹を効率的に搬出するための機器の改善
- 天板に用いる材(広葉樹)の乾燥を工夫することによる製作時間の短縮

### 成果と工夫した ポイント



#### 成果

- ・フォーラムの会員が33人(団体)となり、メンバーの中から世話会が発足した。
- ・ボランティア団体と林業者との連携が進んだ。
- ・搬出した間伐材で学習機の天板200枚を製作。取り付け、環境学習を行った。

#### 工夫

子ども達が毎日使う天板を地域の間伐材で作製して取り付けるのと併せて、森林保全に関する環境学習を行った。